

あかやま

第 317 号
学校だより378号

北高での生活で身につけてほしいもの (校長 木原 和典)



よろしく申し上げます。

平成17年3月以来18年ぶりの北高勤務となりました。時代は大きく変わりましたが、生徒の皆さんのために力を尽くしたいという私の気持ちは変わりません。よろしく申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応のため、様々な制約の中で学校生活を送ることになります。北高での生活は生徒の皆さんにとって一生に一度の高校生活であり、長い人生の中でもかけがえのない時間です。4月以来、始業式・入学式など生徒の皆さんの前で話をする機会がありましたが、この大切な高校生活を送る上で私が伝えなかったことを、改めてお伝えします。

まず、学校生活を通じて身につけてもらいたい3つの力として、「読む力」「書く力」「伝える力」の話をしました。

「読む力」「書く力」というと、どうしても国語や英語の授業で身につけるものというイメージがあります。もちろんこうした教科は、この力をつける上で重要な教科ですが、私はすべての教科の授業・探究活動・学校行事・生徒会活動・部活動など、あらゆる場面で養うものだと考えています。

例えば数学では、ただ数式などの計算をして答を出せばよいということではなく、問題で問われていることは何かをきちんと読み取り、解答に向けた考え方を、文字で表現しながら論理的に書き表すことが必要です。また部活動でも、自分の技術を高めるためにその分野の本を読んだり、練習や試合の振り返りを書き残してメンバーと共有するなど、「読む力」「書く力」を活用する場面は数多くあります。こうした様々な活動を通して、確かな力を養ってください。

「伝える力」についても、必要となる場合は探究活動などでの発表の場面に限りません。単に素晴らしいプレゼンテーションができるようにするというのではなく、自分が考えたことを言葉でま

とめ、それをさらに相手に伝わる表現や聞く側の立場に立った言葉遣いを考えて表現できるようになってください。人との関わりの中で、将来必ず必要となる力だからです。

もうひとつ高校生活を送る中で身につけてもらいたいものとして、認めあい支えあう人間関係をつくることを話しました。

「人はひとりでは生きていけない」と言われます。この言葉から受けるイメージは「人は周囲の支えがあって生きていくことができる」というやや消極的なもののように感じます。それは確かにそのとおりであって、自分が支えてもらって生きていることに感謝することが大切だと思いますが、忘れてはならないのは、「支えてもらわなければ生きていけない人」ばかりでは、世の中は成り立たないということです。

日々の生活が成り立っていることをよく考えて、「自分は確かに支えられて生きているが、一方で自分も誰かを支えている」ということに気づいてください。こうした、より積極的な考え方に目を向け、自分の役割を果たす生き方を考えることが必要だと考えています。学校やクラス、部活動などの集団生活を通じて、互いが価値のある存在であることを認め、「自分は認められている」「失敗しても大丈夫だ」「自分はみんなに支えられているが、自分もみんなを支えている」と実感できる人間関係をつくりあげてください。

最後に、法律の改正によりこの4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。高校卒業の時には、法律上も大人として扱われるようになります。ただ形だけは大人になったということにならないよう、社会人として期待される挨拶や言葉遣いなどのふるまいを、自然に行うことができるようになってください。

それでは、北高の皆さんのこの一年が楽しく充実したものになるよう願っています。

Never be afraid of making mistakes (1年 学年主任 田中 求)

学年主任を務めます、田中と申します。

新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学まことにおめでとうございます。

この入学生たちを我々は特別な思いで迎えています。多くのことが新時代のはじまりといえるものとなっているからです。

新学習指導要領の実施、一人一台端末の導入、観点別評価の成績表記まで含めた完全実施。

これらが、withコロナの社会情勢と相まって、生徒だけではなく、我々教員にとっても「いったいこれから学校はどんな場になっていくのだろう」という不安を多く感じるものとなっているのは事実です。新入生たちの胸の内には、新しい学びだけではなく、本校での生活のあり方や新しい人間関係に対しても大きな不安があろうかと思えます。

まず私たち教員は、この257名の新入生たちに「柔らかに、丁寧に向き合う」ことを約束いたします。

「柔らかに、丁寧に向き合う」とは私が松江北高校に着任した際、当時の本校校長だった泉 雄二郎先生が使われていた言葉です。変化の荒波が押し寄せる今だからこそ、この言葉を大切にしたいと考えます。特にコンピューターやネットワークについてはしばしば冷徹なイメージを伴って語られることが多いのですが、島根県で採用されているGoogle Workspace for Educationにおいては、生徒の学びにこれまでより一層密に寄り添うことが可能になっています。一度きりの課題提出ではなく、アドバイスを与えながら相互やりとりの再提出を繰り返し、生徒の気づきを深めることや、生徒と教員が納得解にともにたどり着くため、協働を重ねることも可能になっています。これらの利点を十分に活かし、「柔らかに、丁寧に」生徒に向き合うことで本校の教育をさらに深めてゆきたいと考えています。

前述した新たな数々の波に加え、社会のありようも多様化を極め、国際政治に至っては緊迫化の一途を辿る情勢の中、実は我々教員自身も「出口が見えない」「うまくやっていると感ずる」ことが多くなってきました。しかし、このような時だからこそできることがあります。失敗を「否」とせず、失敗から模索することを「楽しみ」とすることや、失敗がより良いアプローチ

につながるドアになることを信じ、試行錯誤を重ねることです。このような姿を生徒に示し、「生徒たちとともに」新しい学びを生み出していくことに全力を尽くしたいと思います。変化の多いときであるからこそ、こうしたトライもしやすいはずだからです。

生徒の学びも、我々の仕事も、「うまくやる」ことが目的ではなく、たとえ失敗しても、いかに多くのsomething newに出会うか、いかに気づきや学びを深めるか、いかに知のネットワークを広げてゆかか目的として、過程を重視してゆきたいのです。

未知であるからこそ面白い、未知であるからこそ今まで思ってもいなかったような結果や、新たな出会いがあるかもしれない。このことを少しでも生徒たちに伝え、分かち合っていこうと考えております。

やがて来る卒業の日に今日のこの日の自分の姿を振り返ったとき、信じられないような成長を生徒たちが遂げていてくれることを願い、またすこしでもそのよき伴走者たるべく、まずは学年教員団を挙げて取り組んでまいります。最初の1年間、何卒よろしくお願いたします。

WELCOME!!
ようこそ

松江北高へ

4月に着任された先生方を紹介します

①趣味 ②北高での意気込み を伺いました

よろしくお願いします!

着任教員あいさつ

数学

木原 和典 校長先生

- ① パソコンでのプログラミング (VB、GAS)、ラジオを聞くこと
- ② 18年ぶりの勤務となり、大変懐かしいです。当時も思っていました、勉強だけでなく行事や部活動にも熱心で、とてもいい学校だなと思います。このよさを皆さんと一緒に引き継いで、さらにいい学校になるように頑張りたいです。

英語

渡部 一哉 教頭先生

- ① 父親の家庭菜園の手伝い
- ② 前回の本校最終勤務月は北高が甲子園に行った年の3月でした。それ以来の勤務です。早く仕事に慣れ、北高に貢献したいと思います。よろしくお願いします。



国語

石飛 憲 先生

- ① スポーツ観戦、ドラマ・映画鑑賞
- ② 生徒の皆さん一人ひとりの魅力、そして北高の魅力がたくさん知りたいと思っています。そしてみなさんが充実した北高 Life を送れるよう精一杯応援していきます。伝統ある学校で働けることに喜びを感じています。よろしくお願いします。

国語

景山 奈那美 先生

- ① 読書、音楽鑑賞
- ② 一年ぶりに北高に戻ってきました。どんなことにも一生懸命取り組む北高生のみなさんと、また一緒に過ごすことができ嬉しいです。夢を追いかけるみなさんを支えることができるよう、力を尽くします。よろしくお願いします。

国語

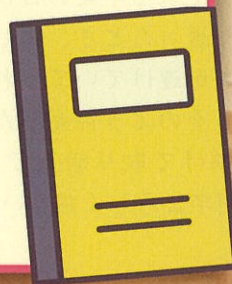
勝部 加緒里 先生

- ① 映画、アニメ鑑賞
- ② 母校なので、校舎を歩くと至る所で懐かしい気持ちになっています。授業や部活動をはじめとして、いろいろな場面で皆さんと一緒に成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

国語

持田 綾子 先生

- ① 身体を動かすこと、読書
- ② 初心に戻って、一つ一つのことにしっかりと向き合い、取り組んでいきたいと思っています。



国語

石田 恵子 先生

- ① 編み物
- ② 国語科の教員ですが、いつ頃からか白衣を着て授業をするようになりました。北高で国語の授業は持ちませんが、変わらず白衣は着ています。白衣を着て校内を歩いている見知らぬ顔を見かけたら、おそらくそれは私です。気軽に声をかけてくださいね。

地歴・公民(日本史)

服部 美紀夫 先生

- ① 旅行、美術館巡り
- ② 歴史の面白さを、少しでも伝えられるよう頑張ります。よろしくお願いします。



理科(化学)

板垣 理沙子 先生

- ① 映画鑑賞、散歩
- ② 勉強や部活動に一生懸命に取り組む生徒の皆さんの姿を見て、元気をもらっています。化学や部活を通して、みなさんと一緒に成長できたらと思っています。よろしくお願いします。

美術

吉野 瑞生 先生

- ① 絵を描くこと、読書、旅行 (最近は行けませんが…)
- ② 穴道湖の向こう側、穴道高校から来ました! 美術を好きになってくれる人が一人でも多くなるような授業ができるように頑張ります。よろしくお願いします。

英語

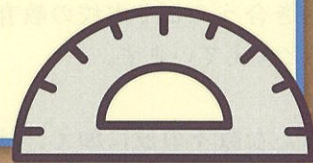
吉田 常弘 先生

- ① 旅行、温泉、サウナ、テニス
- ② 根っからの松江市民として、松江城や武家屋敷に囲まれた風光明媚で閑静な地に建つ伝統校での勤務をうれしく思います。生徒の皆さんが楽しく充実した高校生活を送ることができるよう、精一杯サポートしたいと思っています。

数学

引野 恭也 先生

- ① 読書、運動すること、その他諸々
- ② 皆さんと一緒に楽しく数学を学習し、そして、一緒に成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



理科(物理)

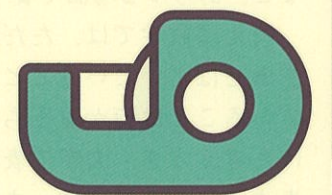
森脇 直紀 先生

- ① 卓球、料理
- ② いろいろな学校、生徒、先生と出会い見聞を広めたいと思っています。北高のこと、松江のことなど、ぜひ話しかけて教えてもらえると嬉しいです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

地歴・公民(地理)

杉谷 幸夫 先生

- ① YouTube で動画を視聴すること。乃木坂配信中、もちまる日記、スーツ交通チャンネルなどが好きです。
- ② 再任用で松江北高は8年ぶり2度目の勤務です。放送大学在籍20年で4コース目に再入学しました。放送大学学歌の歌詞に「生きるとは学ぶこと、学ぶのは楽しみ」とあります。生徒の皆さんとともに、自分自身も松江北高での学びを楽しみたいと思います。



数学

大峠 昌裕 先生

- ① スポーツ全般 (自ら動くことも観戦することも)
- ② 約30年ぶりに母校に帰ってきました。あらゆる所で懐かしさを感じつつも、昔との違いや変化を感じています。私自身、「不易流行」の精神を持ちながら生徒とともに成長できるよう頑張っていきます。

音楽

江指 あけみ 先生

- ① 歌を歌うこと、お菓子作り
- ② 歌うことが大好きです。放課後に聞こえてくる楽器の音や歌声に日々癒やされています。生徒の皆さんが安心して笑顔で学校生活を送ることができるようサポートします!! よろしくお願いします。

理科(生物)

酒井 圭一 先生

- ① 宝探しです。と、言っても宝を探すわけではなく、子供と (小学生と幼児) 一緒に出会ったことのない虫や魚、大きなダンゴ虫など、子供が初めて目にするものを求めて、探検宝探しです。子供のテンション上がりまくるのが見ていてたまりません。そのうち宝が見つかり、自分のテンションも上がりそうな気がします。
- ② 皆さんご存じかと思いますが、私、聴覚障がいがあります。だからと言って、「出来ない」ではなく、「どうすれば出来るか」を常に考えるようにしています。強く生きること。微力ではありますが皆さんの力になればと思います。よろしくお願いします。

事務

林 賢 さん

- ① グルメ番組鑑賞、旅行
- ② 北高を卒業して年数がたちますが、出身校で仕事をするのも感慨深いものです。どうぞよろしくお願いします。

